

芸術・文化を語る

① 6/24 (土) (申込締切:5/24)

創作と
徳島での原体験

藍銅ツバメ

(作家)



1995年、大阪生まれ。鴨島第一中学校、阿波高校、徳島大学総合科学部人間文化学科卒業。ゲンロン大森望SF創作講座の4期受講生。

2020年、『めめ』で第4回ゲンロンSF新人賞優秀賞受賞。21年、「鯉姫婚姻譚」で日本ファンタジーノベル大賞受賞。著書に『鯉姫婚姻譚』(新潮社)。近作に「Niraya」(「小説すばる」22年4月号)、「春荒襖絡繰」(「小説新潮」同年6月号)、「青蠟百物語」(「小説新潮」同年12月号)など。

② 7/22 (土) (申込締切:6/22)

西洋人から見た
徳島の魅力

モートン常慈

(徳島大学教養教育院准教授)



1969年、カナダ生まれ。ブリティッシュ・コロンビア大学大学院東洋学部日本歴史専攻卒。99年から四国遍路の研究に取り組み、現在は主に西洋人と四国遍路の歴史を研究テーマとしている。2001年に来徳し、四国のインバウンド観光史、徳島に貢献した西洋人や、西洋人から見た徳島の魅力などについて調べている。主な著書に『西洋人から見た鳴門渦潮』(鳴門の渦潮・世界遺産登録学術調査検討委員会)、『四国遍路の世界』(ちくま新書、共著)など。

③ 8/12 (土) (申込締切:7/12)

写真が教えて
くれた大切なこと

大杉隼平

(写真家)



1982年、東京生まれ。ロンドン芸術大学で写真とアートを学ぶ。現在は雑誌、TV、広告、カタログ、宣材写真、アーティスト写真のほか、多くのブランドとのコラボレーションや国内外のホテル、企業との撮影を手掛けるなどの活動の傍ら、徳島県内各地で手仕事の現場を撮影している。

CP+主催の「THE EDITORS PHOTO AWARD ZOOMS JAPAN 2020」で一般投票の結果、最多得票によりパブリック賞を受賞。

④ 9/30 (土) (申込締切:8/30)

身体から生まれる
円というかたち

國久真有

(画家)



大阪生まれ。両親が三好市出身。ロンドン芸術大学で学び、神戸芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術工学専攻博士後期課程満期退学。2019年、第22回岡本太郎現代芸術賞特別賞、22年、咲くやこの花賞(美術部門)受賞など。関西を中心に活動し、国内外で個展、グループ展に多数参加。四角いキャンパスに対し自身を軸にした身体から現れる円を描き、自らの意図を作品から切り離し、線を引くという反復を繰り返すことで純粋な絵画とは何かを探っている。

定員 45人 (応募多数の場合は抽選)

時間 14:00 ~ 15:30 (受付 13:30 ~)

場所 文学書道館 2階講座室

【申込方法】

下記の項目をご記入のうえ、はがき、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。

当館1階受付でも申し込みます。

- ・ 芸術・文化を語る・受講希望の番号と講師名・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)
- ・ 年齢・電話番号(中止などの緊急連絡に必要ですので必ずご記入ください)

※全回受講もできます。

〈申込・問い合わせ〉

徳島県立文学書道館
〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1
TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540
メールアドレス kotonoha@bungakushodo.jp